

## 29-5 教育研究評議会議事概要

日時 平成29年7月19日(水) 13:15~15:40  
場所 事務局棟2階会議室  
出席者 駒田学長  
山本, 鶴岡, 尾西, 加納, 尾藤, 富樫, 野崎, 橋本, 西村, 松田, 堀, 吉本,  
伊藤(正), 安食, 樹神, 鶴原, 山口, 片山, 清水, 伊藤(智), 梅川, 神原,  
三宅, 井口  
欠席者 新保, 緒方  
陪席者 服部監事

### ◎ 前回議事概要の確認

学長から事前に照会した29-3教育研究評議会議事概要(案), 29-4教育研究評議会(臨時)議事概要(案)について, 資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり, 了承された。

### I 審議事項

1. 目指すべき人材像の策定と3つのポリシーの点検について  
山本理事から, 「資料: 審-1」に基づき, 「目指すべき人材像」の明確化, 全学ディプロマ・ポリシーの点検・見直し等についての説明の後, 検討するためのワーキング・グループの設置についての説明があり, 審議の結果, 原案どおり承認された。
2. 三重大学入学特別奨学金制度に関する規程の制定について  
野崎副学長から, 「資料: 審-2」に基づき, 勉学に励む意欲があり, かつ経済的理由により修学困難な学生の支援を行うため, 三重大学入学特別奨学金制度に関する規程を制定する旨の説明があり, 審議の結果, 原案どおり承認された。
3. 三重大学国際交流センター規程の一部改正について  
学術情報部長から, 「資料: 審-3」に基づき, 兼務教員の発令をするにあたり, 兼務教員の任期についての取り決めが規定されていなかったことに伴い, 任期について再任を妨げず1年以内と定める三重大学国際交流センター規程の一部改正についての説明があり, 審議の結果, 原案どおり承認された。
4. 伊賀サテライト規程等の改正について  
学術情報部長から, 「資料: 審-4」に基づき, 伊賀, 東紀州, 伊勢志摩の各サテライトの運営委員会構成員にサテライト副統括者を含め, 審議体制と運営体制の実効性及び, 各サテライトの運営体制の一体性を高めるため, 今後発令する各サテライトの兼務教員の任期をサテライト長の任期の範囲内とすることに伴う三重大学地域拠点サテライトの各サテライト規程を一部改正する旨の説明があり, 審議の結果, 原案どおり承認された。
5. 東海型数理・データ科学教育研究センター構想への協力について  
山本理事から, 「資料: 審-5」に基づき, 東海型数理・データ科学教育研究センター構想への協力について, 構想の概要等の説明があり, 審議の結果, 原案どおり承認された。  
また, 以後, 必要に応じ教育研究評議会において検討をする旨の付言があった。
6. 審査委員会の設置について [報告事項終了後, 関係者のみにて審議]  
学長から, 本件については懲戒事由が存在すると思われるので, 三重大学職員の懲戒の審査規程に基づき, 審査委員会の設置について審議願う旨の発言があり, 審議の結果, 承認された。  
その後, 審査委員会委員の組織についての説明があり, 審議の結果, 承認された。

なお、本席上配付された資料については、本会議終了後に回収した。

7. その他  
なし

II 役員会報告

1. 第7～9回役員会について

学長から、平成29年度第7～9回役員会について「資料：役-1，参考資料1～3」に基づき、報告があった。

III その他報告事項

1. 学内共同教育研究施設等における教員の後任補充について

学長から、保健管理センター及び、国際環境教育研究センター（環境研究・保全部門）教員の後任補充についての報告があった。

2. 平成29年度業務執行状況（第1四半期）について

各担当理事・副学長から、「資料：報-1」により、担当毎の平成29年度業務執行状況（第1四半期）について主な取組・成果、課題・対応方針についての報告があった。

3. COC+事業に関する一連の報告

富樫副学長から、「資料：報-2」に基づき、平成29年度第3回地域創発部門会議，地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）外部評価委員会，平成29年度第1回「高等教育コンソーシアムみえ」総会における検討状況等についての報告があった。

4. 平成29年度地域貢献活動支援について

鶴岡理事から、「資料：報-3」に基づき、平成29年度地域貢献活動支援事業採択結果等についての報告があった。

5. 平成30年度概算要求「戦略2-①地域連携機能の抜本的強化」について

松田副学長から、「資料：報-4-1，4-2」に基づき、平成30年度概算要求「戦略2-①地域連携機能の抜本的強化」について方針・取り組み事業等の説明があった。

なお、学長から、今後もこの案件についてはディスカッションをしたい旨の発言があった。

◇主な意見

○工学研究科からは2名の教員の拠出をすることとなっているが、これはサテライトへの拠出と考えているが、この資料によると本部機能の整備となっており想定している人員と違うがどう考えればいいのか

→工学研究科からの2名の教員についてはサテライトでのインターンシップ等に重点的に関わってもらうことを想定している。

○地域創生戦略企画室（仮称）に専任教員を配置するとあり、専門分野が人文社会系，生命科学系，生物資源系，工学系等とあるが実際にどういう教員を採用するという計画であるのか

→これまでの教育研究の能力と新しい第3の機能としての社会還元，地域連携の部分に求められる能力には違いがあるため，今回に関しては，プロジェクトをプロデュースしていくような専門的な能力の高い人材の採用をしたいとそうていしている。この方向性は，文部科学省からも特に否定的な意見等はいただいていないという認識をしている。

専任教員として採用された場合，全ての学部，全ての部局の大学院の対応といった形でプロジェクトマネジメント等を担当する形をイメージしている。

○地域を牽引していくには経営学的なマネジメント的な視点・能力を持った人も意味があると思うので今後検討していただきたい。

○マネジメントが必要であるということは理解できるが、なにも無いところでなにができるのかが判断できるのはマネージャではなく研究者であるということであり、地域貢献も学問的にチャレンジングであるはずなのでそこは忘れずにやっていただきたい。

→基本的には地域拠点サテライトに関しては主幹部局からの教員に地域課題を発見し課題解決に取り組んでいただきたいと考えているが、部局横断的な対応が必要な時とときに地域創生戦略企画室（仮称）が企画力を発揮し、地域での実践力や研究成果の社会実装を強化できればいいのではないかと考えている

#### 6. 平成29年度環境保全功労者等環境大臣表彰について

加納理事から、「資料：報-5」により、三重大学環境ISO学生委員会の多年にわたる活動が認められ、環境省より平成29年度環境保全功労者表彰（地域環境保全功労者表彰）を受賞した旨の報告があった。

#### 7. 平成28年度決算報告等について

財務部長から、「資料：報-6-1」に基づき、貸借対照表、損益計算書、財務指標分析、国立大学法人の会計処理の特徴について説明があった。

また、「資料：報-6-2」に基づき、学部・研究科プロジェクト等の支援経費（案）の配分についての説明があった。

#### 8. 平成29年度公的研究費コンプライアンス教育e-learningの実施について

尾藤理事から、「資料：報-7」に基づき、平成29年度公的研究費コンプライアンス教育e-learningの実施についての説明があり、今年度より事務局所属の職員については全員受講が必要である旨の付言があった。

また、学長より今年度も受講率100%を達成するよう指示があった。

#### 9. チャレンジャーズ・アワード2017の募集について

尾西理事から、「席上配付資料」に基づき、チャレンジャーズ・アワード2017についての報告があった。

#### 10. 三重大学教養教育シンポジウム2017の開催について（資料：報-8）

井口教養教育機構長から、「資料：報-8」により、平成29年9月22日（金）12:50～環境・情報科学館 1階ホールにおいて開催する旨の報告があった。

#### 11. その他

なし

以上